

# 令和元年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	7 - 1 - 1
事務事業名	インターネット環境維持事業			担当課係	学校課
総合計画上の位置付け	政 策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり		記入担当者	武田 嗣末
	基本目標	6. 心豊かなひとづくり		内 線 等	32-3811
	施 策	6-1 教育の充実と文化の振興		E-mail	gakkou@city.komatsushima.i-tokushima.jp
	基本方針	6-1-1 就学前・学校教育の充実			
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	10 教育費	項	1 教育総務費	
	目	3 教育指導費	事業	2 インターネット環境維持事業	
開 始 年 度		年度	根拠法令・要綱等	学校教育法第5条、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領	

## ■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市内小・中学校の児童・生徒及び教職員。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 小・中学校におけるICT（情報通信技術）の環境整備を行うことにより、更なる「校務の情報化」、「情報教育の推進」を推進する。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 教育用コンピュータや校務用コンピュータの導入、既存サーバ等ICT機器の修繕、またセキュリティ対策としてウイルス対策ソフトを導入する。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 市内各小・中学校で主に利用されているコンピュータ等は、2020年1月14日に延長サポートが終了となるWindows7であり、平成30年度・31年度の2年度に分けて、サポート終了となる校務用コンピュータの更新を行っている。

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果	
	単位	H30	R1	R2	R3	目標年度		
						目標値		
						実績		
達成度								
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H30	R1	R2	R3	指標の説明
	教育用コンピュータ	台	計画					主として教育用に使用
			実績	855	855			
	校務用コンピュータ	台	計画					主として教職員が校務に使用
			実績	290	297			
			計画					
		実績						
		計画						
		実績						

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		H30年度決算	R1年度決算	R1年度予算	R2年度予算	
全体コスト （円）	関連事業費	A 直接事業費	34,462,978	38,436,626	204,722,000	3,015,000
		財源内訳				
		国県支出金				
		地方債				
		利用者負担				
	B	一般財源	34,462,978	38,436,626		
	人件費 ①×②	1,347,970	899,458			
	職員平均人件費①	5,391,878	3,597,831			
	従事した割合②/人	0.25	0.25			
	A + B	35,810,948	39,336,084			
単位コスト	活動指標の説明	児童生徒数（2,496人）	児童生徒数（2,427人）		備考	
	活動指標1 単位当たりコスト	14,347	16,208		平成30年4月1日現在 人口38,156人	
	市民一人あたりのコスト	939	1,041		平成31年4月1日現在 人口37,795人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 文部科学省は、平成28年から「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」を開催し、平成29年度には「学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議」、平成30年度には「教育の情報化に関する手引」作成検討会の開催など、今後の学校教育の情報化に関する総合的な推進方策について検討を行い、教育の情報化の充実を推進している。また「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018~2022年度)」も策定されており、学校活動のあらゆる側面へのICTの積極的活用が推進されていくと思われる。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 社会の情報化の急速な発展に伴うグローバル化・ICTの進展等の教育の推進が求められており、ICT機器を効果的に活用した授業などについては、保護者からの関心も高い。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果(該当にチェック)	判断理由・評価コメント(具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	高度情報社会において児童の情報活用能力を育成するためにも、ICT活用の必要性は高い。今後、実施される新学習指導要領でも、「情報活用能力」を言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられており、今後の学習活動においてより積極的にICTを活用することを求めている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	学校教育法第5条に基づき、市内小・中学校の経費は、設置者である市が負担することとなっており、妥当である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいか、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	コンピュータ、サーバ等周辺機器の老朽化に伴い、修繕が必要な機器が増加している。修繕コストを削減しながら比較的効率的に、ICT環境の整備を行っていると言える。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	セキュリティ上の脆弱性対策のため、ウイルス対策ソフト及びフィルタリングソフト等を導入、更新することは、ICTの積極活用を図るため緊急性が高い。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	平成31年度は、市内5小学校及び1中学校の、サポート終了(2020年1月14日)が迫るWindows7を使用している、校務用コンピュータ等を更新した。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	今後、実施される新学習指導要領に沿い、「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」等の国の財政措置を活用し、市内小・中学校に、学習者用コンピュータ、大型提示装置等のICT機器、周辺機器を整備し、更なる「情報教育の推進」「校務の情報化」を推進していかなければならない。	

■一次評価(評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80点以上	評価点による判定	判定に至った理由	国の動向に注視し、児童・生徒の情報活用能力向上のため、ICT環境の整備を行う。新学習指導要領において求められる学習活動を実現できるよう、更なる「校務の情報化」、教職員のICT活用指導力向上を推進する。
		2 現状のまま継続する	60~79点			
		3 改善・効率化し継続	40~59点			
		4 終期設定し終了	20~39点			
		5 完了・休止・廃止	19点以下			
2		79	2			

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】
---------------------------------

■二次評価(所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明	児童・生徒の情報活用能力の育成の他、教職員の指導力向上が求められる。ICT環境の整備を推進するとともに、情報セキュリティの確保に取り組み、教職員及び児童・生徒が安心してICTを活用できる環境を整備するため、今後も当事業を継続するべきである。
		2 現状のまま継続する		
		3 改善・効率化し継続		
		4 終期設定し終了		
		5 完了・休止・廃止		
2				